



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月23日

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8707 URL http://www.iwaicosmo-hd.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 沖津 嘉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 笹川 貴生 TEL 06-6229-2800
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年11月24日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,407	20.8	11,241	21.4	3,402	77.8	3,592	65.6	2,637	71.5
2020年3月期第2四半期	9,439	△13.3	9,256	△13.8	1,913	△34.9	2,169	△32.2	1,537	△32.7

(注) 包括利益2021年3月期第2四半期 5,101百万円(480.9%) 2020年3月期第2四半期 878百万円(△61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	112.28	—
2020年3月期第2四半期	65.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	184,213	54,639	29.7
2020年3月期	166,794	50,829	30.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 54,639百万円 2020年3月期 50,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	55.00	75.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示していません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	25,012,800株	2020年3月期	25,012,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,523,732株	2020年3月期	1,523,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	23,489,092株	2020年3月期2Q	23,489,113株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示していません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 受入手数料	9
(2) トレーディング損益	10
(3) 自己資本規制比率	10
(4) 連結損益計算書の四半期推移	11

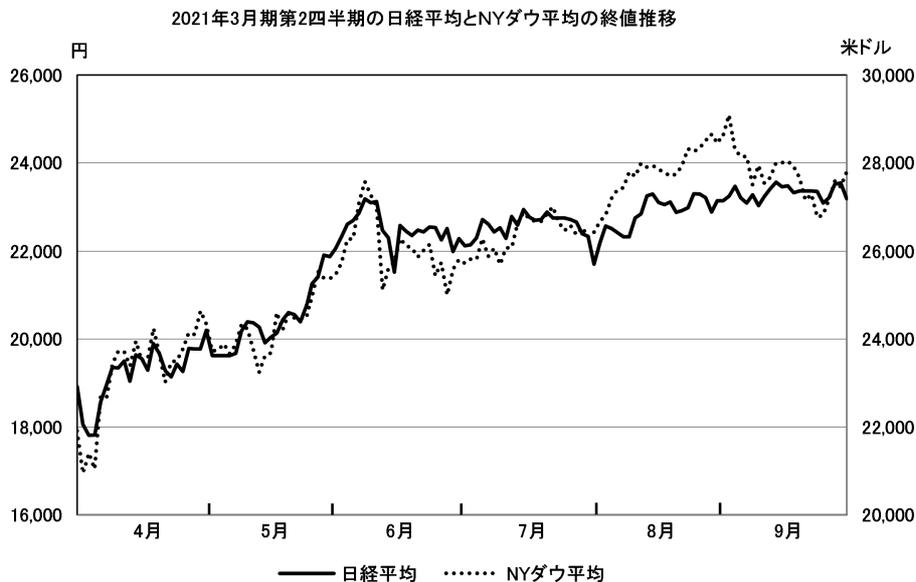
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症禍において、依然として厳しい状況にあるものの、感染防止を意識した新生活様式が徐々に浸透し、個人消費や企業の生産活動に持ち直しの動きが見え始めました。また、海外情勢についても、感染再拡大のリスクを抱えつつ、足元において経済活動再開の動きが見られました。

こうした経済環境のもと、国内株式市場は、政府による過去最大規模の緊急経済対策を好感して回復基調となり、4月30日の日経平均株価（終値）は20,000円の大台を回復しました。また、5月後半になると、国内外の経済活動再開への期待から一段高となり、6月8日には、およそ4ヶ月ぶりに23,000円を上回りました。その後、円高ドル安傾向や感染再拡大への懸念などから上値の重い状態が続いたものの、8月に入ると、米国の低金利政策の長期化や新型コロナウイルス感染症のワクチン開発の進展期待などを好感して、日経平均株価は緩やかに上昇しました。8月後半には、安倍首相の辞任報道を嫌気する場面もありましたが、後任にアベノミクスの継承を掲げる菅氏が有力となったことで買い安心感が広がり、9月14日の日経平均株価（終値）は期中高値となる23,559円30銭まで上昇しました。なお、9月30日の終値は23,185円12銭となり、前期末を22.6%上回る水準で取引を終了しました。

一方、米国株式市場は、雇用統計の悪化から下落して始まりましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）による大規模な緊急資金供給策の発表などを好感して上昇に転じ、ダウ工業株30種平均（終値）は、4月17日に24,000ドル台となりました。その後、W T I原油先物が史上初のマイナス価格となったことを受けて急落する場面も見られましたが、経済活動の再開への動きを受けて上昇基調を辿り、6月5日に27,000ドルを回復しました。6月中旬以降は、感染第2波への懸念から軟調な値動きが続いたものの、8月に入ると、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発への期待やF R Bの長期にわたる金融緩和姿勢が好感され、9月2日には、およそ6ヶ月ぶりに29,000ドルを超えました。その後、大統領選挙に向けたテレビ討論会において、法人税増税に積極的なバイデン氏の優勢が伝わると調整ムードが強まり、9月末のダウ工業株30種平均（終値）は27,781ドル70セント（前期末比26.8%上昇）で取引を終えました。



当社グループの中核事業を担う岩井コスモ証券株式会社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、対面営業部門における店頭での接客やお客様のご自宅への訪問等、一部の顧客サービスを停止する一方、当社グループが従前より取り組んできたタブレット端末によるテレワークを最大限に活用し、営業員の活動形態を原則として在宅勤務に切り替えるなど、持続的な金融サービスの提供に注力しました。また、Web会議システム「Zoom」によるお客様との面談やWebセミナーを積極的に開催し、コロナ禍の三密（密閉・密集・密接）を避ける新生活様式に対応した営業活動を展開しました。このような取り組みのなか、株価の上昇を追い風に国内及び米国の

株式取引が活発となったことを主因として、当社グループの営業収益は114億7百万円（対前年同期比20.8%増加）、純営業収益は112億41百万円（同21.4%増加）となりました。一方、販売費・一般管理費は、賞与などの変動費の増加を主因として78億38百万円（同6.8%増加）となり、経常利益は35億92百万円（同65.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億37百万円（同71.5%増加）と、増収増益となりました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

(受入手数料)

受入手数料は44億4百万円（対前年同期比1.8%増加）となりました。内訳は以下のとおりであります。

①委託手数料

委託手数料は、国内外の株式を中心に26億52百万円（対前年同期比41.5%増加）となりました。

②引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株券の手数料は84百万円（対前年同期比723.8%増加）となりました。一方、債券の手数料は10百万円（同92.9%減少）となり、引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料全体では95百万円（同41.7%減少）となりました。

③募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に6億43百万円（対前年同期比48.5%減少）となりました。

④その他の受入手数料

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に10億13百万円（対前年同期比2.7%減少）となりました。

(トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は54億37百万円の利益（対前年同期比66.7%増加）となりました。一方、債券等トレーディング損益は5億81百万円の利益（同17.3%減少）となり、その他のトレーディング損益27百万円の損失（前年同期は3百万円の利益）を含めたトレーディング損益の合計は59億91百万円の利益（対前年同期比51.0%増加）となりました。

(金融収支)

金融収益は、信用取引収益を中心に10億11百万円（対前年同期比11.5%減少）となりました。一方、金融費用は1億65百万円（同9.4%減少）となり、差し引き金融収支は8億45百万円（同11.9%減少）となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、業績に連動する賞与等の変動費の増加を主因として78億38百万円（対前年同期比6.8%増加）となりました。

(営業外損益)

営業外損益は、受取配当金を中心に1億89百万円の利益（対前年同期比25.9%減少）となりました。

(特別損益)

特別損益は、システム移行に伴う費用の計上を主として47百万円の損失となりました（前年同期は18百万円の損失）。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,842億13百万円（前連結会計年度末比174億19百万円増加）となりました。このうち、流動資産は、信用取引資産及び預託金の増加を主因として1,675億21百万円（同134億63百万円増加）となりました。また、固定資産は投資有価証券の時価の上昇を主因として166億92百万円（同39億56百万円増加）となりました。

一方、負債合計は1,295億74百万円（前連結会計年度末比136億9百万円増加）となりました。このうち、流動負債は、預り金及び信用取引負債の増加を主因として1,239億61百万円（同127億78百万円増加）となりました。また、固定負債は繰延税金負債の増加を主因に52億9百万円（同9億1百万円増加）となりました。

純資産合計は、546億39百万円（前連結会計年度末比38億9百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績・配当予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	9,864	10,998
預託金	93,318	98,353
顧客分別金信託	93,000	98,000
その他の預託金	318	353
トレーディング商品	2,528	2,191
商品有価証券等	2,503	2,180
デリバティブ取引	24	10
約定見返勘定	130	361
信用取引資産	35,957	43,113
信用取引貸付金	33,045	39,208
信用取引借証券担保金	2,911	3,904
有価証券担保貸付金	595	980
借入有価証券担保金	595	980
立替金	526	580
短期差入保証金	9,398	9,178
未収収益	1,151	1,268
その他の流動資産	592	502
貸倒引当金	△3	△5
流動資産計	154,058	167,521
固定資産		
有形固定資産	1,664	1,820
建物	222	219
器具備品	894	1,056
土地	541	541
その他	6	3
無形固定資産	653	613
ソフトウェア	653	613
その他	0	0
投資その他の資産	10,417	14,258
投資有価証券	9,339	12,809
長期差入保証金	686	690
繰延税金資産	277	634
その他	301	304
貸倒引当金	△186	△179
固定資産計	12,736	16,692
資産合計	166,794	184,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	179	475
商品有価証券等	176	471
デリバティブ取引	3	4
信用取引負債	13,053	17,252
信用取引借入金	5,747	8,268
信用取引貸証券受入金	7,306	8,983
有価証券担保借入金	3,770	5,670
有価証券貸借取引受入金	3,770	5,670
預り金	44,276	49,044
顧客からの預り金	41,292	41,018
その他の預り金	2,983	8,026
受入保証金	41,760	42,622
短期借入金	4,000	3,300
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
未払法人税等	427	1,425
賞与引当金	661	1,139
資産除去債務	41	203
その他の流動負債	1,012	827
流動負債計	111,182	123,961
固定負債		
社債	2,000	2,000
繰延税金負債	1,790	2,869
資産除去債務	366	189
その他の固定負債	150	150
固定負債計	4,307	5,209
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	474	403
特別法上の準備金計	474	403
負債合計	115,964	129,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	33,272	34,618
自己株式	△1,702	△1,702
株主資本合計	46,464	47,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,365	6,829
その他の包括利益累計額合計	4,365	6,829
純資産合計	50,829	54,639
負債・純資産合計	166,794	184,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
受入手数料	4,328	4,404
委託手数料	1,874	2,652
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 等の手数料	163	95
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	1,249	643
その他の受入手数料	1,041	1,013
トレーディング損益	3,969	5,991
金融収益	1,142	1,011
営業収益計	9,439	11,407
金融費用	183	165
純営業収益	9,256	11,241
販売費・一般管理費	7,342	7,838
取引関係費	1,129	1,066
人件費	3,657	4,230
不動産関係費	726	724
事務費	1,174	1,126
減価償却費	364	366
租税公課	177	210
その他	112	114
営業利益	1,913	3,402
営業外収益	260	194
営業外費用	4	4
経常利益	2,169	3,592
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	0	70
投資有価証券売却益	—	12
特別利益計	0	82
特別損失		
システム移行に伴う費用	19	130
特別損失合計	19	130
税金等調整前四半期純利益	2,150	3,544
法人税、住民税及び事業税	521	1,269
法人税等調整額	91	△362
法人税等合計	613	907
四半期純利益	1,537	2,637
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,537	2,637

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,537	2,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659	2,464
その他の包括利益合計	△659	2,464
四半期包括利益	878	5,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	878	5,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
委託手数料	1,874	2,652
(株券)	(1,787)	(2,487)
(債券)	(0)	(0)
(受益証券)	(86)	(164)
(その他)	(0)	(0)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	163	95
(株券)	(10)	(84)
(債券)	(153)	(10)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	1,249	643
その他の受入手数料	1,041	1,013
合計	4,328	4,404

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
株券	1,858	2,633
債券	169	13
受益証券	2,257	1,703
その他	42	54
合計	4,328	4,404

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
株 券 等	3,261	5,437
債 券 等	703	581
そ の 他	3	△27
合 計	3,969	5,991

(3) 自己資本規制比率 岩井コスモ証券株式会社(単体)

(単位：百万円)

	前第2四半期末 (2019年9月30日)	当第2四半期末 (2020年9月30日)	前事業年度末 (2020年3月31日)
基本的項目 (A)	42,048	44,058	41,961
補完的項目 (B)	713	692	748
その他有価証券評価差額金(評価益)	235	284	270
金融商品取引責任準備金	474	403	474
一般貸倒引当金	4	4	3
控除資産 (C)	3,750	4,474	4,012
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)	39,011	40,277	38,696
リスク相当額 (E)	4,972	4,972	4,758
市 場リスク相当額	222	272	235
取引先リスク相当額	1,150	1,139	992
基礎的リスク相当額	3,598	3,560	3,530
自己資本規制比率 (%) (D) / (E) × 100	784.5	809.9	813.2

(4) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2019. 7. 1 2019. 9. 30)	前第3四半期 (2019. 10. 1 2019. 12. 31)	前第4四半期 (2020. 1. 1 2020. 3. 31)	当第1四半期 (2020. 4. 1 2020. 6. 30)	当第2四半期 (2020. 7. 1 2020. 9. 30)
営業収益					
受入手数料	2,326	2,831	2,719	2,272	2,131
委託手数料	945	1,303	1,403	1,401	1,251
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	93	22	22	5	89
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	771	1,014	775	380	262
その他の受入手数料	516	490	518	484	528
トレーディング損益	1,827	1,431	1,354	3,122	2,868
金融収益	588	626	546	474	536
営業収益計	4,743	4,889	4,620	5,870	5,536
金融費用	97	119	77	73	92
純営業収益	4,645	4,769	4,542	5,797	5,444
販売費・一般管理費	3,663	3,724	3,684	3,937	3,900
取引関係費	565	600	568	511	555
人件費	1,839	1,846	1,822	2,137	2,092
不動産関係費	362	369	362	366	357
事務費	580	574	612	563	562
減価償却費	181	192	179	185	180
租税公課	82	82	84	114	96
その他	51	58	55	58	56
営業利益	981	1,045	858	1,859	1,543
営業外収益	41	118	55	167	26
営業外費用	1	5	3	0	4
経常利益	1,021	1,158	910	2,026	1,566
特別利益	—	—	—	82	—
特別損失	19	40	329	—	130
税金等調整前四半期純利益	1,002	1,118	581	2,109	1,435
法人税、住民税及び事業税	439	189	394	571	698
法人税等調整額	△148	159	△205	18	△380
四半期純利益	711	769	393	1,519	1,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	711	769	393	1,519	1,117